

令和2年度大阪府立箕面東高等学校「第2回学校運営協議会」報告

【日 時】 令和2年11月18日（木）

【方 法】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、電話・メール等での意見聴取による開催

【出席者】 学校運営協議会委員：伊東義輝（大阪成蹊短期大学）

橋本 敏（箕面市立第六中学校 校長）

横谷 さゆり（本校PTA会長）

篠崎 朗（本校同窓会会長）

須貝昭子（NPO法人：市民活動フォーラムみのお） ※意見聴取

永井 潤（元本校校長） ※意見聴取

校 長：尾形 政則

事務局：川上慶次郎（教頭） 武内 由佳（教頭） 今西 隆司（事務長）、

長崎 孝（首席）、室田 真幸（首席）、上村 裕貴（第1学年主任）、

野田 恒三（第2学年主任）、亀ノ上 祐介（第3学年主任）

【 説明・報告事項 】

1. 校長あいさつ、役員紹介

2. 本校の状況（校長）

新型コロナ感染防止対策の観点から、6期の入学式は中止した。

休校中の課題について、現物の必要なものは、ゆうパックで送付し、HPを活用して一部動画視聴教材を配信した。

オンライン授業対応として、経済通産省 Edtech 事業を利用し、C-Learning を無償で試験導入した。

6/15 から授業再開。5月の体育祭は秋に順延。文化祭は飲食を扱う、人が密になるという観点から中止。

3. 本校の課題とその対応（教頭）

志願者が年々減少傾向にあることが課題。その対応として、広報活動について以下の取り組みを実施。

・新たな学校パンフレットを作成

既存のものから写真等、中学生やその保護者に伝わりやすいように工夫した。

・生徒会新聞を活用

今年度の生徒会が作成したクラブ紹介新聞の完成度が高かったため、広報資料として使用した。

・学校HPデザインの改良

中学生向けのページを開設。オープンスクールの申込みができるように設定した。

休校中の連絡専用ページを開設。ユーチューブやC-Learning リンクさせた。

・みのひがTV

中学生や高校生にとって身近なユーチューブを活用し、「どんな授業をしているか」「大阪府で箕面東でしかできないこと」を知ってもらえるように、同窓会にもご協力いただきながら開設した。

4. 各学年の状況（各学年主任）

3年（ES 4期）

- ・文化祭が中止になったため、卒業にあたって3年のみの行事を実施した。各クラスが工夫を凝らし、真剣な表情で準備に取り組んでいるので、大きな教育効果を実感している。
- ・コロナによって進路決定に影響を受けたが、大半の生徒は進学先、就職先を確定させている。まだ決定していない生徒についてもしっかりと対応していく。

2年（ES 5期）

- ・行事の中止が相次ぎ、生徒も非常に残念がっている。進路説明会をオンラインで実施。
- ・休校明け授業での生徒の様子は落ち着いており、行事日などの欠席も少ない。休校や行事の中止をうけた影響で、友人たちとの学校生活を楽しみにしていたようだ。
- ・来年の進路関係の学力検査に対応できるよう、早い段階から指導していきたい。

1年（ES 6期）

- ・入学式中止となり高校生活スタートの区切りとして、休校明けに1年独自の行事などを行った。
- ・遠足は、現地集合・解散などもあったが、遅刻者も少なく、生徒はしっかりと自分たちで経路や時間を調べて行動できていた。
- ・初めてのことに戸惑っているが、生徒は学校生活を楽しもうとルールを守りながら生活できていると思われる。

（意見・質問）

- ・委員B「コロナの影響で進路先も絞られていると思うが、それについての影響はどうか。」
- ・長崎「昨年度より定員が少なかった。昨年度より、1次合格者の割合が減少しており、厳しい状況なのは確かである。また今年度は、就職希望者に女子生徒が多く事務職やアパレル業界（販売）の希望が多い。ともに採用枠が減少している分野である。これから2次にむけて面接指導など行きたいしっかり丁寧に行っていききたい。」
- ・委員A「大卒の採用状況を見ても同じではあるが、マス・ラグジュアリーを扱うメーカーなどは、早くも立ち直りが見えてきて、追加募集をしているところもある。業界全体では、来年度が1番厳しい見込みだそうだ。観光業界も同じ傾向にある。これからはSPIのような基礎学力試験も必要になってくる。今年度は面接もオンラインで実施。対面によるものはほとんどなかった。高校も今後そのような就活事情への対応が必要となるだろう。」
- ・長崎「学校あつせんなので、オンライン面接なども学校で実施となると、音の入らない部屋やその設備が必要となる。複数一度となるとそれに対応できる環境整備が課題。全国的に見て同様の状況だと思う。」
- ・委員C「生徒会新聞が非常にすばらしい。世間ではユーチューブ等オンラインでの映像や写真がもてはやされている傾向にあるが、反面アナログの良さも着目されている。文章は画面より伝わるものがあり、生徒が表現力を身につけることにもつながる。生徒発信の学校新聞は、中学生やその保護者にとって、わかりやすく伝わりやすい発信源になると思う。それを広報として活用しない手はないだろう。」

【 協議事項 】

1. 学校経営計画の進捗状況

- ① 2年後の要領改訂に向けて、カリキュラム検討会議を立ち上げ、検討中である。
- ② 大阪府教育センターの協力を受け、評価の在り方についてのパッケージ研修を実施している。
- ③ 国際交流委員会を立ち上げた。ウェブ（スカイプ）を中心に海外と交流している。
韓国的高校と英語をつかって交流。6期が韓国への修学旅行を考えていたが、今後どうなるか未定。
パラリンピック出場のアスリートによる講演と競技体験。
- ④ 生徒会は自主的に挨拶運動や清掃活動をして、自分たちにできることを探している。
- ⑤ 居場所カフェ
コロナの影響も議論したが、こういうときだからこそ家で勉強できない子のために、と居場所を用意。
- ⑥ みのひがレター
例年2回の配布を、今年から4回にした。学校パンフレットも、例年1000部のところ、今年は3000部印刷し、すでに完売。さらに増刷中。

2. 授業アンケートの結果

令和2年前期のアンケート例年通りの結果であった。今年は6月からの授業のため、後半の授業がとても大切だ。結果をもとに授業の改善に努める。

(意見・質問)

- ・ 委員C 「学校パンフレットを増刷したのは、パンフレットが好評で要望があったから？それとも配布に力をいれているためか？」
- ・ 校長 「たくさん配布している。昨年の取り組みである母校訪問ができなくなったので、去年の倍の数の中学校に教員を派遣し、パンフレットを配布した。今年は中学から招待され、学校説明をする機会もあったので、そういった機会にも大量に配布した。」
- ・ 委員A 「今年の生徒会新聞を小サイズのパンフレットにするスピード感がすごい。これまであまりなかった。これからこういった傾向は増えるのではないか。パンフレットもとても見やすくなった。」
- ・ 委員B 「1_①授業アンケートの書き方は、選択肢か、点数をつけさせるのかどのように取り組んでいる？」
- ・ 校長 「『よく当てはまる：4』『やや当てはまる：3』『あまりあてはまらない：2』『あてはまらない：1』の4段階の選択式で、その平均値を算出している。」
- ・ 委員C 「アンケートを実施したのはモジュール授業だけか。それ以外の授業もか。」
- ・ 校長 「すべての授業で実施している。」
- ・ 委員D (意見聴取による)
「コロナ感染拡大防止対策と店員割れへの対応が課題である。広報については、教員が足しげく中学校を訪問することが効果的。その中学校から来た生徒が、高校で具体的にどう成長したかを語れること、また、その教員が学校全体のことについて語れるようにならないといけない。
そのためには、生徒をどう見るかが大切。生徒にどのような場面で自己肯定感・有用感を感じさせるのか、生徒が学ぶ「居場所」となるような学校の取組みが、今後も大切だ。」
- ・ 委員E (意見聴取による)
「生徒会新聞など生徒会の頑張りがすごい。今後もサポートしてゆきたい。」

箕面東高 137 号
令和2年11月1日

箕面東高等学校
学校運営協議会委員様

大阪府立箕面東高等学校
校長 尾形 政則

令和2年度 第2回学校運営協議会について（ご依頼）

時下 貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は本校をはじめとして府立学校の教育にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第2回学校運営協議会を下記の要領で開催致します。今回は日頃の本校の授業をご見学いただいた後、会を持ちたいと考えております。多事多用のこととは存じますが、本校の充実・発展のためご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

日 時： 11月18日（水） 14：00 ～16：00

場 所： 本校校長室

内 容

- 本校の今年度教育活動について
- 令和2年度学校経営計画進捗について
- 令和2年度教科書採択について
- その他

【お問合せ・ご連絡先】

大阪府立箕面東高等学校

教頭 武内 由佳

〒562-0025

大阪府箕面市粟生外院5丁目4番地 63 号

TEL 072(729)4008 FAX 072(729)6194

E-mail T-TakeuchiYuka@medu.pref.osaka.jp